

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

大項目	財産経営の推進				No.	63③	
中項目	将来に残す公共施設等の長寿命化及び計画的な整備・維持保全による経費の軽減・平準化				担当課	財産活用課● (公共建築第1課) (住環境政策課) 施設課	
具体的な改革項目	計画的な維持保全による公共建築物の長寿命化、投資平準化、維持管理効率化、有効活用などを実施し長期的な経費負担の軽減						
現状と課題 (これまでの取組)	[学校] 児童生徒の急増期に建築し、老朽化が進んできている建築後30年以上経過した棟が50%を超え、今後さらに増加することが見込まれるため、老朽化対策の計画的な実施が必要となっている。 平成24年度、国で老朽化対策の検討が行われており、その検討結果を踏まえた長寿命化指針の策定に向け、現在、施設の現状把握を行っている。						
改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	・学校施設の劣化度や環境性能など客観的に評価できる指標を基に長寿命化指針を定め、学校施設整備計画に反映することにより、各施設の実態に合わせた経費負担や環境への影響の少ない手法を採用することで、効率的財産管理、財産の有効活用を図る。					
	取組の内容	・国で行われている老朽化対策の検討結果を踏まえ、劣化度や環境性能など客観的に評価できる指標の検討を行い、評価指標を基に学校施設整備の優先度や長寿命化に必要な整備内容を定めた長寿命化指針を策定し、今後の整備計画に反映させる。					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度		平成26年度		最終目標／ 27年度以降
指標	学校施設整備計画に長寿命化指針を反映	学校施設の現状把握	評価指標の検討	実績	計画	実績	学校施設整備計画に反映
				下記の評価指標についてH25年度中に検討を実施し評価指標を決定した。 ・老朽度 ・建築後の経過年数 ・児童数、クラス数 (適正配置)	長寿命化指針の策定	長寿命化指針素案を策定	
			評価指標の検討	評価指標の決定	長寿命化指針の策定	長寿命化指針素案の策定	
進捗管理	取組の状況	上半期 (4～9月)	平成25年度		平成26年度		
		下半期 (10～3月)	評価指標の検討中 (国も検討中)	予定通り 進捗	評価指標を確定のうえ、優先度順位の検討を行い、長寿命化指針の骨子を作成する。	予定通り 進捗	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	平成25年度		平成26年度			
		・老朽度、建築後年数、適正配置の各指標について評価することで、客観的な比較検討を実施できた。	B	・学校施設長寿命化指針素案を策定した。	B		
計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価	総合評価				平成27年度以降	
		・計画どおり、上位計画である財産経営推進計画や新潟市公共建築物長寿命化指針に基づき、学校施設長寿命化指針素案を策定した。					
課題、今後の方針、改善事項など	課題、今後の方針、改善事項など	・指針に基づいた学校施設整備計画の策定				・学校施設整備計画を策定し、これに基づき維持保全を実施する。 ・学校施設整備計画を適切に見直し及び更新を行う。	